

令和 6 年度指定管理者管理運営状況評価結果について
(文化施設 7 件)

東京都では、指定管理者制度を導入した公の施設の管理運営状況について、第三者の視点を含めた評価を実施しています。

このたび、令和 6 年度の評価結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

1 評価の目的

評価は、管理の履行状況、安全管理、法令遵守、サービスの利用状況といった観点から指定管理者の業務実施状況等の評価し、その結果を今後の施設管理運営に反映していくことで都民サービスの向上を図っていくことを目的としています。

2 評価の方法

指定管理者の年間を通じた施設の管理運営状況について、毎年度終了後、所管局による一次評価及び評価委員会（外部委員で構成）による二次評価を行い、これらの評価結果に基づき、局の最終評価として総合評価を決定します。

3 評価の概要

(1) 評価基準（4 段階）

総合評価	内容
S	管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A	管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B	管理運営が良好であった施設
C	管理運営に良好ではない点が認められた施設

評価の観点については別紙 1 のとおり。

(2) 評価委員会名及び委員構成

評価委員会	対象施設	委員構成
東京都江戸東京博物館外 6 施設指定管理者評価委員会	東京都江戸東京博物館等 7 施設	外部委員 7 名（文化政策関係者 1 名、美術館・博物館関係者 2 名、ホール関係者 2 名、公認会計士 1 名、施設サービス評価専門委員 1 名）

評価委員会委員の氏名については別紙 2 のとおり。

(3) 評価結果

	S	A	B	C	計
東京都江戸東京博物館外 6 施設指定管理者評価委員会	2 施設	4 施設	1 施設	—	7 施設

各施設の評価は別紙 3 のとおり。

[問合せ先]
生活文化局文化振興部文化事業課
電話：03-5000-7237

評価の観点

項目	細項目	内容
管理状況	管理の実施状況	○施設設備その他の管理は適切に行われているか ・施設設備の管理について ・危機管理・各種法令等の遵守、個人情報保護・情報公開の取組について など
	財務の状況	○適切な財務運営が行われているか ・施設の収支状況について ・外部資金等の活用について など
事業効果	事業の実施状況	○効果的な事業内容か ・資料の管理・活用について ・展覧会等の内容について ・教育普及事業について ・施設の貸出について ・芸術文化の振興に関する事業について など
	運営の実施状況	○適切な施設運営が行われているか ・休館日及び開館時間について ・地域連携について ・広報について など
	施設サービスの 実施状況	○適切な施設サービスが行われているか ・多様な利用者に配慮した施設設備について ・案内・表示について ・館内サービスについて など
方針と目標 の達成状況		○事業計画の基本方針に従い、目標を達成しているか

評価委員会委員名簿

評価委員会名	委員氏名	役職名
東京都江戸東京博物館 外 6 施設指定管理者 評価委員会	金山 喜昭	法政大学 名誉教授 國學院大學大学院兼任講師
	井原 麗奈	芸術文化観光専門職大学 講師
	前田 利昌	紀伊國屋ホール 事業部長
	天野 知香	お茶の水女子大学 名誉教授
	浦島 茂世	美術ライター
	松本 次夫	日本公認会計士協会東京会 常任幹事
	名古 比加里	株式会社 J T B パブリッシング ソリューション事業本部 交流プロ デュース部 担当部長

令和6年度 東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価
総合評価（美術館・博物館）

評価対象施設	東京都江戸東京博物館
所在地	東京都墨田区横網1-4-1（分館 東京都小金井市桜町3-7-1）
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和6年度

項目		評価内容	
総合評価		A	
管理状況	管理の実施状況	○	適切な管理運営を行っている。
	財務の状況	◎	遺贈による寄付金を活用し、館のコレクション充実に資する資料を収集した。
事業効果	事業の実施状況 （資料の収集・保管・活用、調査研究等）	○	財団本部や東京都と協力しながら、収蔵資料の再評価を試行的に実施し、展覧会（出張江戸博）にて運用し、本格実施に向けて事業を進めた。
	事業の実施状況 （展示・教育普及事業等）	◎	出張ワークショップや出張展示は博物館を身近にする取組であり、目標を上回る回数を実施したことは評価できる。
	運営の実施状況	○	各館との交流を深めるとともに、災害等による被災文化財のレスキュー活動にも継続的に協力・連携している。
	施設サービスの 実施状況	○	休館中にもかかわらず、様々な工夫を凝らして江戸東京の歴史・文化の発信を継続するとともに、リニューアルオープンに向けた準備も着実に進められている。
方針と目標の達成状況		○	両館とも事業計画の基本方針に沿って、事業運営が適切に行われている。

「評価基準」各項目の評価
◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上
○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成
△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下
総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価
「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な面で優れた取組が認められた施設
「B」…管理運営が良好であった施設
「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり
◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上
○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上
△＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	特になし
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	特になし

令和6年度 東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価

総合評価（美術館・博物館）

評価対象施設	東京都写真美術館
所在地	東京都目黒区三田1-13-3
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和6年度

項目		評価内容	
総合評価		A	
管理状況	管理の実施状況	○	適切な管理運営を行っている。
	財務の状況	○	企業会員の獲得、そして会員に対してのフォローアップなども積極的に実施している。
事業効果	事業の実施状況 (資料の収集・保管・活用、調査研究等)	◎	・資料の保管管理を適切に行い、積極的な調査研究とその成果を着実に公開した。昨年度を上回る所蔵作品のデジタルアーカイブ化に取り組んだ。 ・紀要を通して、継続的な学芸員の研究意欲が感じられ、その姿勢に裏打ちされた見応えある収蔵展が実現されている。
	事業の実施状況 (展示・教育普及事業等)	◎	・収蔵展での来場者数が高水準な実績であった。図書室の年間利用者数及び年間レファレンス件数も大幅に増加した。 ・企画展では館の企画力や作家選択が光る展覧会を実施した。
	運営の実施状況	○	恵比寿映像祭の地域連携プログラムなど、都や地域との連携に取り組んでいる。
	施設サービスの実施状況	◎	カフェ、ショップともにクオリティが高く、展覧会に合わせたメニューの提供など美術館の魅力を高めている。
方針と目標の達成状況		○	調査研究に立脚した質の高い展覧会を実施しており、地域連携事業も好調である。

[評価基準] 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「B」…管理運営が良好であった施設

「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり

◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上

○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上

△＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	特になし
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	特になし

令和6年度 東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価
総合評価（美術館・博物館）

評価対象施設	東京都現代美術館
所在地	東京都江東区三好4-1-1
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和6年度

項目		評価内容	
総合評価		S	
管理状況	管理の実施状況	○	適切な管理運営を行っている。
	財務の状況	◎	坂本龍一展など入場者数が過去最多となり、グッズの販売にも好影響を与え、大幅な収益を計上し、財務状況は健全である。
事業効果	事業の実施状況 （資料の収集・保管・活用、調査研究等）	◎	・資料の保管管理を適切に行い、積極的な調査研究とその成果を着実に公開している。 ・国際シンポジウムを通して海外の美術館との交流を深め、また海外の視点や状況を学び、今後の活動につなげた。
	事業の実施状況 （展示・教育普及事業等）	◎	・高橋龍太郎展はコレクションに焦点を当てることを通して、現代美術の歴史観の形成を考察できる意義深い企画として高い評価を得た。 ・企画展、常設展に加え、アートブックフェアなどの試みも積極的に行っている。
	運営の実施状況	◎	想定以上の来館者に対して、館の受入体制を急遽整備し、混雑時に開館時間を早めたほか、夜間臨時開館の実施など柔軟に対応した。
	施設サービスの 実施状況	◎	近隣の学校や商店街との連携や、地域イベントへの参加や協賛など地域コミュニティと連携した活動を通して、まちづくりの核となっている。
方針と目標の達成状況		◎	研究に基づいたコレクション展や企画展が実現されている。管理も適切で、集客力のある展覧会と意義深い内容の研究を反映した展示のバランスも良く、来場者の満足度も高い。

「評価基準」各項目の評価
◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上
○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成
△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下
総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価
「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
「B」…管理運営が良好であった施設
「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり
◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上
○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上
△＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	質の高い多様な展覧会を開催し、開館以来最大となる総観覧者数を記録するなど、館の魅力を最大限に発揮した。
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	特になし

令和6年度 東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価
総合評価（美術館・博物館）

評価対象施設	東京都美術館
所在地	東京都台東区上野公園8-36
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和6年度

項目		評価内容	
総合評価		A	
管理状況	管理の実施状況	○	適切な管理運営を行っている。
	財務の状況	○	適切な収支状況、物品管理を行っている。
事業効果	事業の実施状況 （資料の収集・保管・活用、調査研究等）	○	・紀要の発行などの内容に鑑みても調査研究に努力している。 ・東京都のコレクションを使った企画は、幅広い作品を見ることができる意欲的な展覧会である。
	事業の実施状況 （展示・教育普及事業等）	◎	・「上野アーティストプロジェクト2024ノスタルジアー記憶の中の景色」などの企画展では鑑賞空間の創出等は好評を得て、好調であった。 ・「Creative Aging ずっとび」などの先進的な事業を行っている。
	運営の実施状況	○	「Museum Start あいうえの」事業など積極的な地域連携活動を継続的に行っている。
	施設サービスの 実施状況	◎	託児など施設サービス全般は充実している。レストランおよびショップについて安定的な収益を上げている。
方針と目標の達成状況		○	事業計画に基づき、適切かつ継続的な事業運営が行われている。多彩な事業がバランスよく実施されている。

「評価基準」各項目の評価
◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上
○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成
△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下
総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価
「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な面で優れた取組が認められた施設
「B」…管理運営が良好であった施設
「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり
◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上
○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上
△＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	特になし
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組みべき点	特になし

令和6年度 東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価
総合評価（美術館・博物館）

評価対象施設	東京都庭園美術館
所在地	東京都港区白金台5-21-9
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和6年度

項目		評価内容	
総合評価		S	
管理状況	管理の実施状況	◎	・重要文化財である本館等を適正に維持管理し良好な状態を保っている。 ・専門的な意見を聞き、より円滑な保存活用の方向づけを行っている。
	財務の状況	○	適切な収支状況、物品管理を行っている。
事業効果	事業の実施状況 （資料の収集・保管・活用、調査研究等）	○	建物公開展をはじめ、本館そのものの素晴らしさをアピールし、集客に繋げている点は評価できる。
	事業の実施状況 （展示・教育普及事業等）	◎	建物を見せる工夫について、毎回新たな視点を見出し、充実した展示につなげ、庭園美術館ならではの個性的な鑑賞体験を提供している。
	運営の実施状況	○	地域と連携した活動や、庭園マルシェ、コンサートや能のイベント、ユニークメニューにも積極的に取り組んでいる。
	施設サービスの 実施状況	◎	・文化財の保存と来館者の快適性を両立させている。 ・カフェ、レストラン、ショップなど付帯施設では充実したサービスを提供している。
方針と目標の達成状況		◎	保存活用計画やランドデザインの取組等、建物と庭園の保存、活用に積極的に取り組んでいる。

「評価基準」各項目の評価
◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上
○＝「水準とおり」…項目が計画どおりに達成
△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下
総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価
「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
「B」…管理運営が良好であった施設
「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり
◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上
○＝「水準とおり」…総合満足度が80%未満50%以上
△＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	庭園美術館の特性を生かした、様々な工夫を凝らした事業展開により、館の魅力を存分に高めることにつながっている。
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	特になし

令和6年度 東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価
総合評価（ホール）

評価対象施設	東京文化会館
所在地	東京都台東区上野公園5-45
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和6年度

項目		評価内容	
総合評価		A	
管理状況	管理の実施状況	○	老朽化した施設であるが、適切な管理運営を行っている。
	財務の状況	◎	文化庁や民間の助成金および協賛金等の外部資金を活用するなど工夫し、収支を黒字化している。
事業効果	事業の実施状況	◎	・各事業へ音コン入賞者等を積極的に起用することで、若手の実力発揮の場を創出している。 ・パリのボンビドーセンターと連携して、無声映画と現代音楽のコラボレーションという新たな試みを実施した。
	運営の実施状況	○	利用者ニーズにあわせた臨時開館、文化機関連携、広報活動も堅調に実施している。
	施設サービスの実施状況	◎	やさしい日本語を使用した災害時の案内チラシを作成、タブレットによる遠隔手話通訳サービスや、点字ガイドブックの運用を開始するなど、公演の鑑賞サポートにも対応した。
方針と目標の達成状況		○	良質な公演の鑑賞機会を確保し、次世代への音楽文化の継承と教育普及、社会包摂・社会課題の解決にむけて取り組んでいる。

〔評価基準〕 各項目の評価
◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上
○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成
△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下
総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価
「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
「B」…管理運営が良好であった施設
「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり
◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上
○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上
△＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	特になし
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	特になし

令和6年度 東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価
総合評価（ホール）

評価対象施設	東京芸術劇場
所在地	東京都豊島区西池袋1-8-1
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和6年度

項目		評価内容	
総合評価		B	
管理状況	管理の実施状況	○	適切な管理運営を行っている。
	財務の状況	○	文化庁の助成金や協賛金を獲得し、収支改善に善処している。
事業効果	事業の実施状況	◎	世界的に好評を得た公演を実施したほか、様々な社会包摂プログラムや劇場ツアーを積極的に行い、舞台芸術の関心を高め、誰にでも劇場を身近に感じてもらえるような企画を実施した。
	運営の実施状況	○	休館期間中に劇場スタッフを世界各国の国際フェスティバルに派遣し、国際的な連携を強化するとともに、スタッフの育成にも注力した。
	施設サービスの実施状況	○	鑑賞サポート、来館者のニーズにマッチした商品やサービスなど堅調に活動している。
方針と目標の達成状況		○	芸術文化の創造発信拠点としての役割を果たすために質の高い作品を発信している。社会共生や人材育成など社会的課題の解決に向けた取り組みを行っている。

[評価基準] 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「B」…管理運営が良好であった施設

「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり

◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上

○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上

△＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	特になし
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	特になし